

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

<b>1 前年度 評価結果の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的コミュニケーション能力の育成に向けた研究の継続により、児童生徒が主体的に学ぼうとする力や発達段階に応じた「話す力」「聞く力」を高めることができた。</li> <li>極少数のよさを生かした個別の対応を充実させることで、学習面・運動面・生活面において十分な高まりや結果が見られた。</li> <li>職員間の連携、学校と家庭・地域との連携を十分に図りながら、一体感のある教育活動を展開することができた。</li> </ul>
--------------------------	---

<b>2 学校教育目標</b>	<p>夢をもち たくましく 挑戦する 児童生徒の育成</p> <p>— 郷土愛 自律 協働 —</p>
-----------------	---

<b>3 本年度の重点目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域とともにある学校づくり（体験活動を通じたふるさとの魅力を発見・発信する活動）</li> <li>②離島へき地教育の推進（児童生徒の実践的コミュニケーション能力を育むための研究・タブレット端末の活用）</li> </ul>
-------------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上とする。 ○12月実施の県学習状況調査、1月実施のCRT標準学力検査において、全ての学年・教科で県平均、基準値を上回るようにする。	・小中学校の職員でマイプランを共有し、取組の促進を目指す。 ・児童生徒の実態を教職員間で共有し、個別に必要な指導を行う。 ・家庭学習において復習的な課題を出し、基礎・基本の定着を図る。 ・定期的に確認テストを実施する。必要に応じて補充学習を行う。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎自らの夢や目標の実現に向けて挑戦する気持ちを高める教育活動の推進	○「周囲に対して思いやりをもって接することができている」と回答する児童生徒を80%以上にする。 ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上とする。 ○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童(1・2・3・4・6年生)、生徒(3年生)100%にする。	・各教科、特別活動など教育課程全般において道徳教育の推進を図るよう教職員間の共通理解を図る。 ・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルの作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を行う。 ・各行事で、児童生徒の自主性を生かし、計画、実行、振り返りを行わせる。 ・総合的な学習の時間で、「島の魅力」について調べる学習を行う。							道徳教育推進教諭 (大川内、岡)  人権・同和教育担当者 (大川内、岡)  キャリア教育担当者 (上田、岡)
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ○健康に関する自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒を100%にする。 ○帰宅時や食事前に丁寧に手洗いができる児童生徒を100%にする。	・毎日朝食を食べているかのチェックを行う。朝食を食べることやバランスよく食べることの大切さがわかり、意識して食べる態度を育てる。 ・正しい手洗いの方法を指導し、年間を通して啓発を行う。							保体部 (堤、大川内、森)  保体部 (堤、大川内、森)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○(学校独自重点取組・任意)	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○(学校独自成果指標・任意)	・定時退勤日の徹底 ・長期休業日の年休取得の促進 ・部活動休業日の設定 ・学校閉庁日の設定							管理職

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○タブレット端末等のICT機器の活用	○職員によるタブレット端末の使用に係るスキルアップ ○(学校独自重点取組・任意)	○タブレット端末の活用頻度が上がり、使用方法や指導方法の理解が向上した教員を80%以上にする。 ○(学校独自成果指標・任意)	・講師によるタブレット端末の活用の講義 ・先進校事例紹介 ・タブレット端末を使っている授業改善 ・タブレット端末による遠隔授業の試み			
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

<b>5 総合評価・ 次年度への展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------------------	---